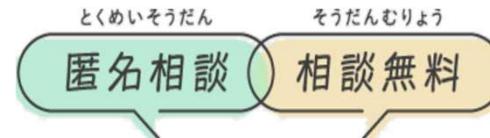




令和7年度福岡県薬物乱用防止講習会講師団講師研修会  
令和7年10月17日（金）

## 福岡県の薬物乱用防止対策について



福岡県大麻乱用防止サポート窓口



福岡県保健医療介護部薬務課

# 本日の内容

- 1 薬物乱用の現状
- 2 薬物乱用防止の取組
- 3 市販薬の乱用（オーバードーズ）について
- 4 その他

# 1 薬物乱用の現状

- 全国の現状
- 福岡県の現状

# 薬物乱用の現状（全国）

## ○全薬物事犯検挙人員

(人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
検挙人員	13,887	13,841	14,019	14,322	13,860	14,567	14,408	12,621	13,815	14,040

## ○覚醒剤事犯検挙人員

(人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
検挙人員	11,200	10,607	10,284	10,030	8,730	8,654	7,970	6,289	6,073	6,306

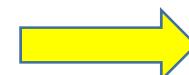


6年連続で1万人を下回っているが、昨年より増加した。

## ○大麻事犯検挙人員

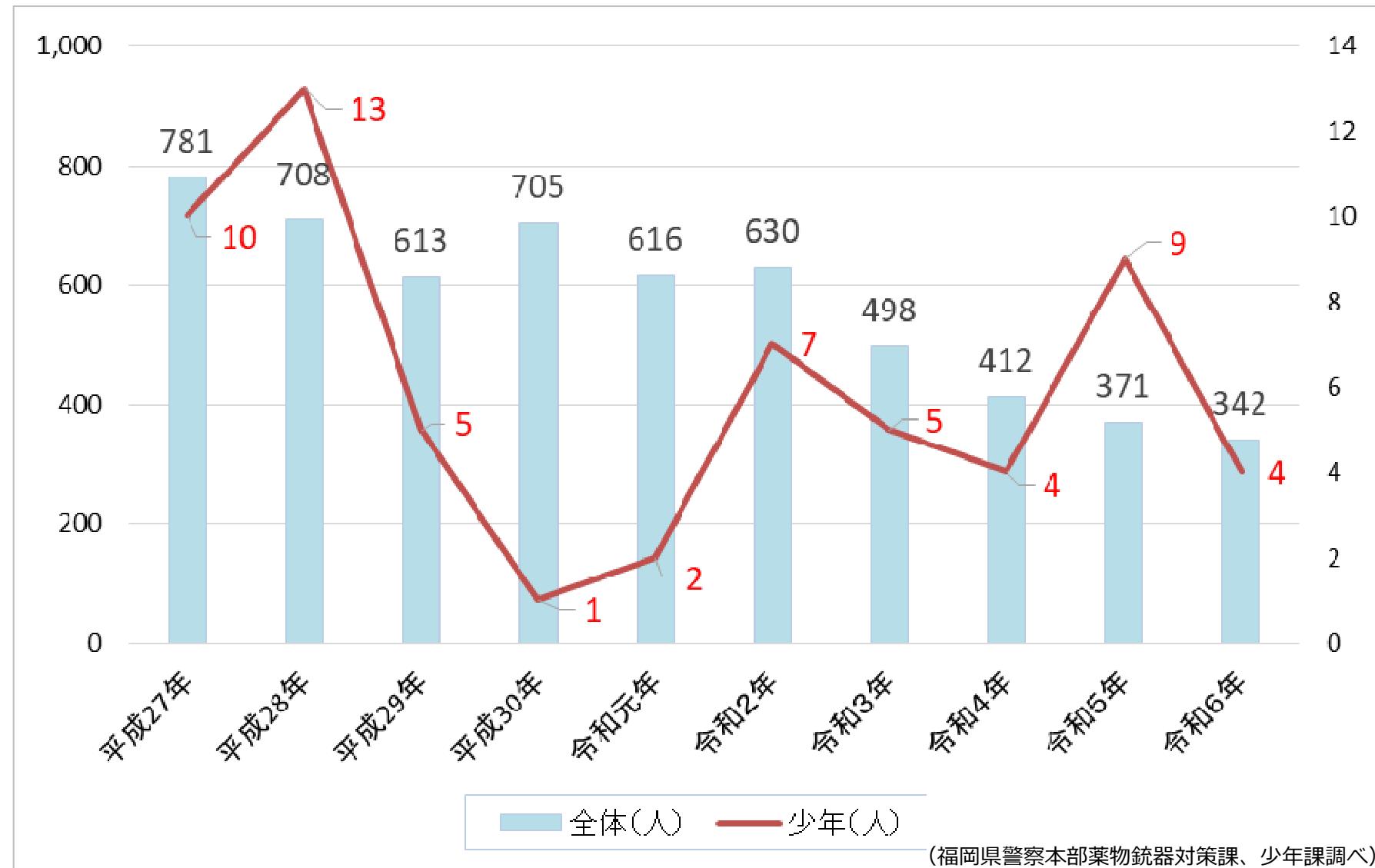
(人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
検挙人員	2,167	2,722	3,218	3,762	4,570	5,260	5,783	5,546	6,703	6,342



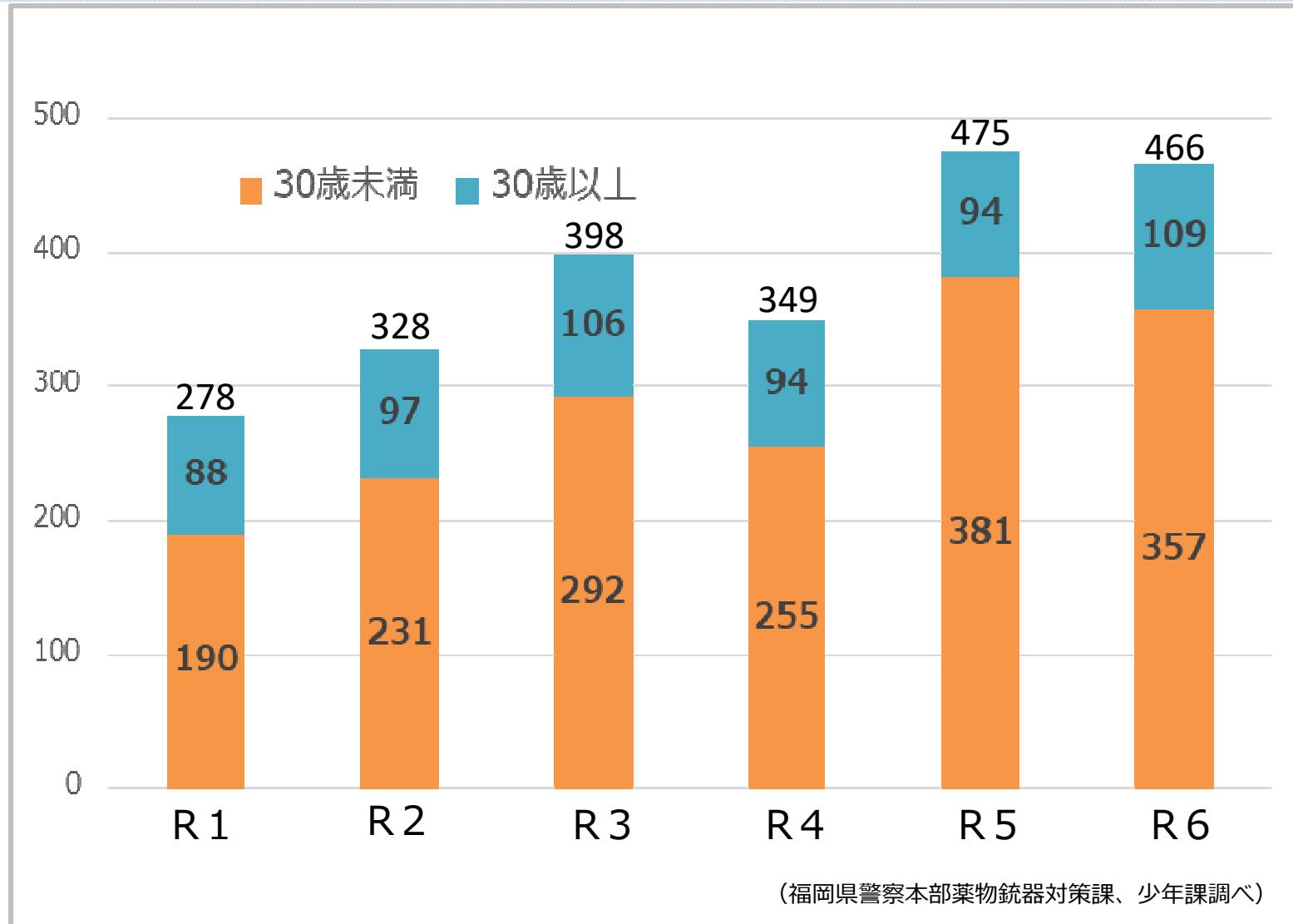
令和5年は、過去最多を更新し、令和6年も高い水準となっている。また、若年層の割合が非常に高く「**若年者大麻乱用期**」の渦中にあると言える。

# 覚醒剤事犯の検挙人員（福岡県）



- 覚醒剤事犯の検挙人員は高い水準で推移しており、その依存性の強さから再犯者率が高い。（令和6年の再犯者率 78.1%）<sup>5</sup>

# 大麻事犯の検挙人員（福岡県）



- 福岡県内の大麻事犯検挙人員は、平成27年以降増加傾向にあり、令和5年に475人と過去最多を更新した。また、検挙人員のうち若年層（30歳未満の割合）が約8割を占めている。

## 2 薬物乱用防止の取組

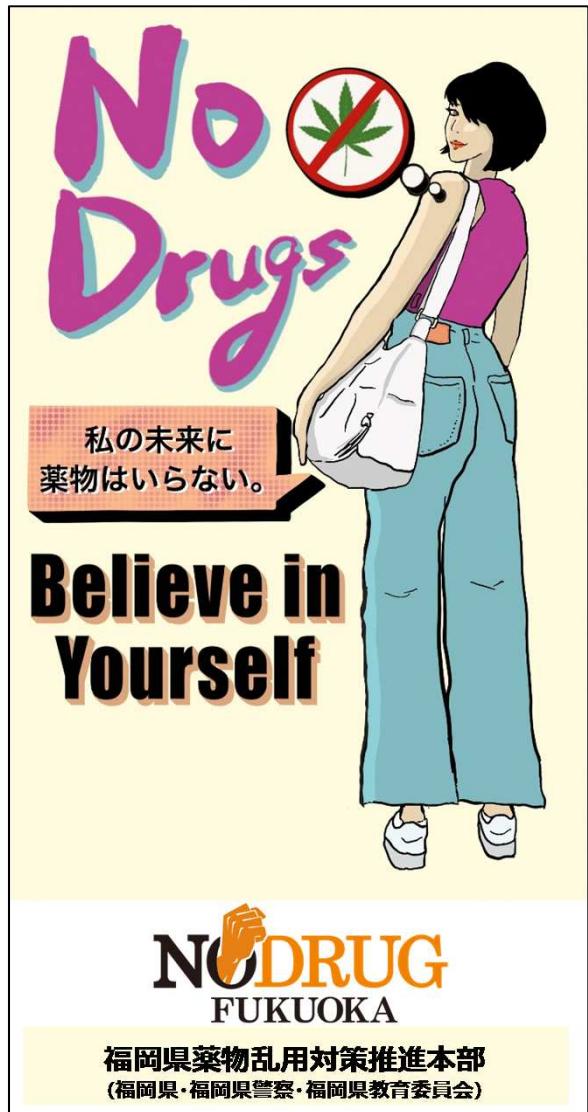
【啓発】

【取締り】

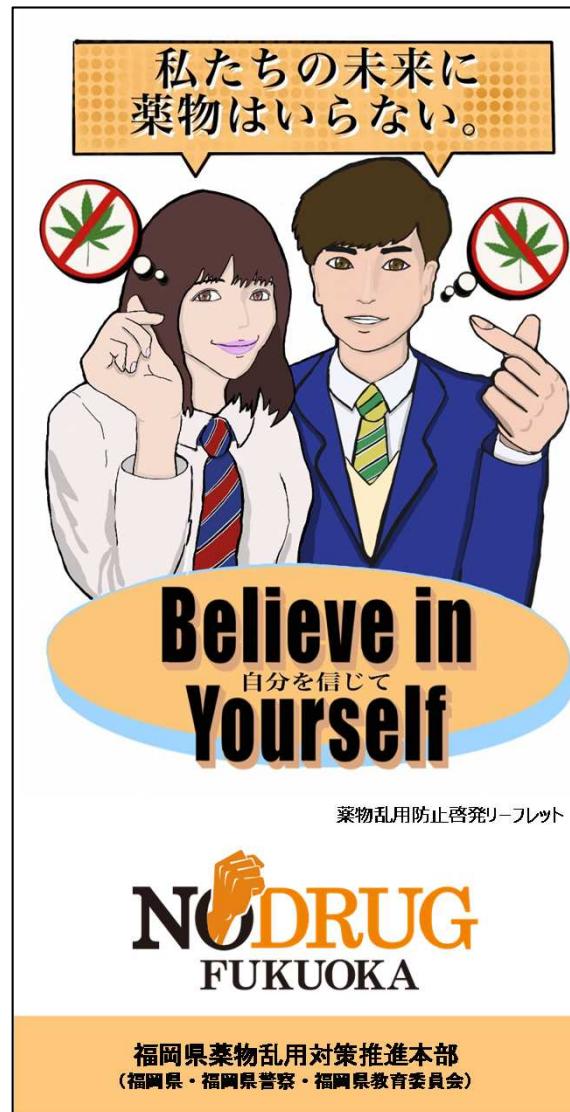
【再乱用防止】

# 【啓発】薬物乱用防止啓発リーフレットについて

## 大麻乱用防止啓発



## 薬物乱用防止啓発 (薬物全般)



## 薬物乱用防止啓発 (小学生向け)



# 【啓発】薬物乱用防止啓発リーフレットについて



Believe in  
Yourself  
自分で信じて  
Yourself

薬物乱用防止啓発リーフレット

NO DRUG  
FUKUOKA

福岡県薬物乱用対策推進本部  
(福岡県・福岡県警察・福岡県教育委員会)

薬物の乱用は、あなたの健康、あなたの周りの大切な人たちに計り知れない悪影響をもたらします。

薬物乱用とは？

薬物乱用とは、決められたルールを守らないで、薬物を使うことです。  
覚醒剤などの違法薬物は、たとえ一回だけの使用でも乱用になり、同時に犯罪になります。  
また、医薬品であっても病気や傷の治療等本来の目的以外で使えば乱用です。

一度だけなら大丈夫なの？

1回だけのつもりでも、繰り返し使用するようになり、薬物依存症に陥る危険性があります。  
最初の1回を使わないことが何より大切です。

薬物乱用から抜け出せないパターン



薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の“依存性”と“耐性”

依存性：繰り返し使わなければならなくなってしまうこと。

耐性：使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効きめがうすれてしまうこと。

薬物乱用とは？

薬物乱用とは、決められたルールを守らないで、薬物を使うことです。  
覚醒剤などの違法薬物は、たとえ一回だけの使用でも乱用になり、同時に犯罪になります。  
また、医薬品であっても病気や傷の治療等本来の目的以外で使えば乱用です。

一度だけなら大丈夫なの？

1回だけのつもりでも、繰り返し使用するようになり、薬物依存症に陥る危険性があります。  
最初の1回を使わないことが何より大切です。

薬物乱用から抜け出せないパターン



薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の“依存性”と“耐性”

依存性：繰り返し使わなければならなくなってしまうこと。

耐性：使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効きめがうすれてしまうこと。

乱用される薬物の種類とその心身への影響

覚醒剤



別名:S(エス)、スピード、アイス、シャブ

シンナー



別名:アンパン

危険ドラッグ



合法ハーブ等と称して販売されている  
健康被害を起こしたり、死亡したりするだけでなく交通事故等で他人を巻き込む事例が多数報告されている  
平成26年の法改正により指定薬物に指定され、「危険ドラッグ」の所持、使用、購入、譲り受けが禁止されるなど規制が強化され、販売店舗は壊滅しかし、インターネット上などで今なお販売されている

依存性が高い

- 幻覚・妄想
- 高血圧
- 静脈に炎症を起こす
- 強い疲労感や倦怠感、脱力感
- フラッシュバックを起こす

大麻



別名:野菜、ハッパ、マリファナ、グラス、チョコ、クサ、ジoint

(写真提供:厚生労働省)

●大麻の乱用による短期的影響

知覚の変化 学習能力の低下 運動失調

時間や空間の感覚がゆがむ 短期記憶が妨げられる 瞬時の反応が遅れる

●大麻の乱用による長期的影響

精神障害 IQ(知能指数)の低下 薬物依存

統合失調症やうつ病を発症しやすくなる 短期・長期記憶や情報処理速度が下がる 大麻への欲求が抑えられなくなる

記憶力の低下、幻覚、妄想、認知障害

- 視力の低下・失明
- 歯がぼろぼろになる
- 肝臓障害
- 手足のふるえ、しびれ、麻痺

MDMA



別名:エクスター、ハツ、タマ

●知覚の変化

幻覚 記憶障害 腎臓、肝臓障害 多量摂取すると高体温になり死に至る

コカイン



●落込みや不安を紛らわせるためなど、本来の目的以外で市販薬・処方薬を使用することは乱用であり、やめたくてもやめられなくなる依存に陥るおそれがある

●悩みがある時は市販薬・処方薬の乱用に頼るのではなく信頼できる大人や相談機関に相談をすることが大切

市販薬・  
処方薬



市販薬や医師から処方された薬(処方薬)は、用法・用量を守って正しく使用しないと副作用のリスクが高まる

●落込みや不安を紛らわせるためなど、本来の目的以外で市販薬・処方薬を使用することは乱用であり、やめたくてもやめられなくなる依存に陥るおそれがある

●悩みがある時は市販薬・処方薬の乱用に頼るのではなく信頼できる大人や相談機関に相談をすることが大切

## リーフレットの提供をご希望の場合は

電話 092-643-3287 又は 下記メールアドレスまでご連絡ください。

連絡先メールアドレス : no-drugs@pref.fukuoka.lg.jp

①送付先（郵便番号、住所及び氏名）、②連絡先（TEL）、③使用目的、④必要部数を記載してください。

# 【啓発】大麻乱用防止教育用動画について



- 中学生と専門家によるトーク番組風であることが特徴。
- 中学生がクイズや実践に挑戦しながら学ぶ。

【大麻による健康影響編】  
(動画時間：約 14 分)

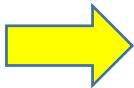


【大麻の誘いへの対処編】  
(動画時間：約 18 分)



【県内中学校への動画の提供】  
福岡県内の中学校には、令和4年12月中にDVDを配布しました。

【活用の機会】  
薬物乱用防止教室（外部講師）  
（例）動画の上映 + 講演



中学校から薬物乱用防止教室の依頼があった場合は、本動画の活用について学校とご相談いただきますようお願いします。

※希望される講師の先生に、DVDの貸出も対応できます。  
薬務課麻薬係（092-643-3287）に相談してください。

# 【啓発】若者向け大麻乱用防止啓発動画について

○若年層に「大麻の誘いに対する断り方」を伝えるため動画（TAIMA HAZARD）を作成し、福岡県薬物乱用防止啓発サイトで公開（令和4年1月～）  
「大麻での逮捕編」「先輩からの誘い編」「学校での誘い編」を作成

【大麻での逮捕編】  
(動画時間：約4分)



【先輩からの誘い編】  
(動画時間：約4分)



【学校での誘い編】  
(動画時間：約7分)



ゲーム特有のカメラワークにより、ゲームの世界に入り込んだ  
ような感覚で視聴できます！

福岡県薬物乱用防止啓発サイト  
<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/>

福岡県 薬物

検索



福岡県薬物乱用防止啓発サイト  
からも視聴が可能です！

## 2 薬物乱用防止の取組

【啓発】

【取締り】

【再乱用防止】

# 【取締り】大麻取締法等の改正について

## 大麻に関する罰則

	改正前	改正後 ※麻向法の「麻薬」として規制
大麻の <b>使用（施用）</b>	なし	7年以下の拘禁刑
大麻の <b>所持</b>	5年以下の懲役	7年以下の拘禁刑

## 大麻草由来製品（CBD製品等）の成分規制

○大麻草由来製品（CBD製品等）に残留限度値が設けられました。  
(限度値を超えるTHCを含む製品は規制対象になります。)

種類	残留限度値	製品例
油脂（常温で液体のもの）及び粉末	10 ppm	CBDオイル・CBDパウダー等
水溶液	0.1 ppm	清涼飲料水・化粧水等
その他	1 ppm	菓子類・電子タバコ等

# 【取締り】危険ドラッグについて

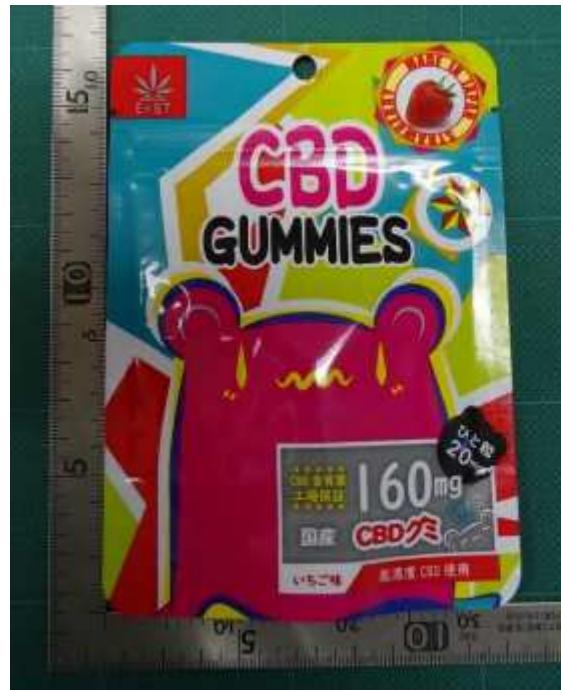
- 福岡県では、危険ドラッグによる県民の健康被害の発生を防止するため県内の店舗等から危険ドラッグ製品の買上検査を行っています。
- 令和7年2月に店舗から買い上げた製品について残留限度値を超える濃度の麻薬成分△9 – T H C (テトラヒドロカンナビノール) が検出されました。

製品画像

商品名  
C B D E A S T  
G U M M I E S  
いちご味

性状

グミ



2

## 薬物乱用防止の取組

【啓発】

【取締り】

【再乱用防止】

みんなで考えよう!

大麻乱用防止教室

～大麻による健康影響編～

全体の中学生で  
大麻を使った人の割合

0.3%

人数に置き換えると

約300人に  
1人

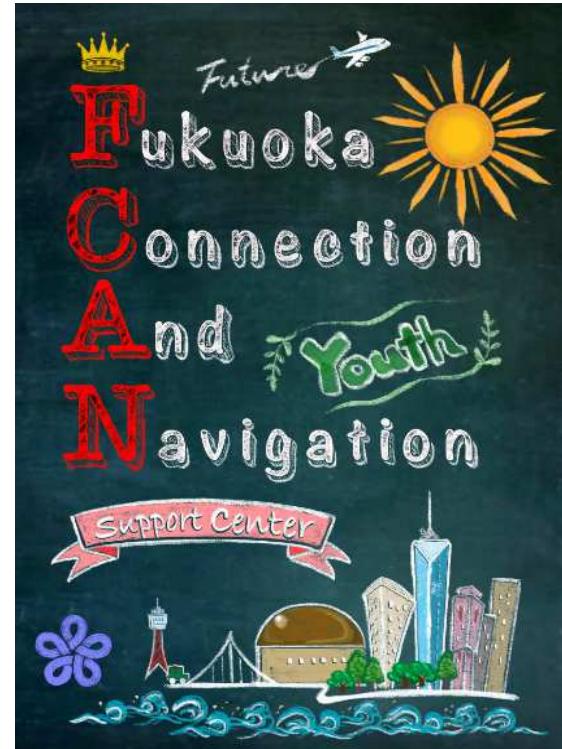
提供：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
「飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査」

# 【再乱用防止】少年向け大麻再乱用防止対策

近年増加している

**大麻事犯で検挙補導された少年** を対象に  
少年の大麻からの立ち直り支援に特化した  
**F-CANプログラム** を実施

大麻乱用少年専用のワークブックを作成



プログラムの一例：少年が取り組みやすいようイラストを多用

# 【再乱用防止】少年向け大麻再乱用防止対策

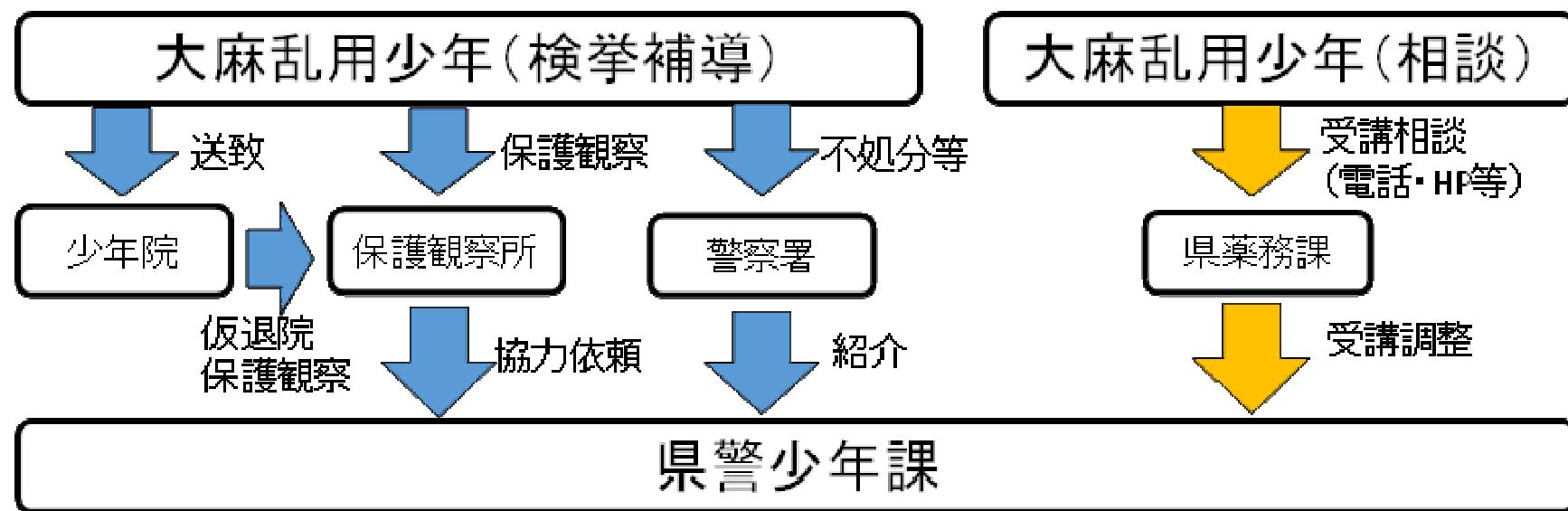
県警少年サポートセンターが立ち直り支援のノウハウを活かしながら、ワークブックを用いて、マンツーマンでプログラムを実施。

＜実施機関＞県警少年サポートセンター

＜対象＞ 福岡県在住の19歳以下の少年（性別は問いません）

①薬物事犯で検挙補導された少年

②薬物をやめたい少年  
(相談による受講)



# 【再乱用防止】福岡県大麻乱用防止サポート窓口

大麻の誘いを受けている少年 や 大麻使用経験がある少年 に対して、  
薬物に頼らずに生きていくため の相談支援を行う窓口を設置（令和6年10月25日）

## 福岡県大麻乱用防止サポート窓口



LINE で相談

### 【特徴】

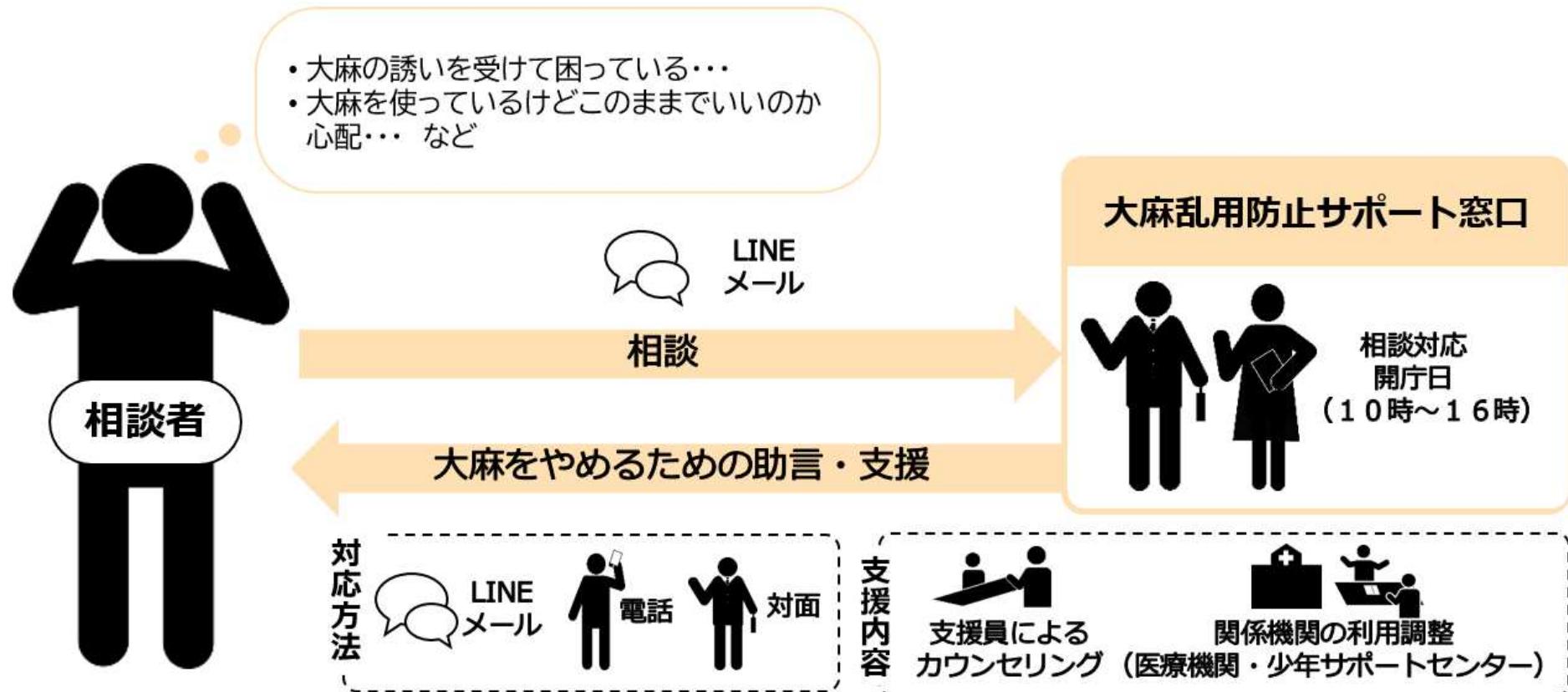
- 大麻に関して困っている若者に特化
- LINEを使って匿名で気軽に相談可能
- 心理の専門家による大麻をやめるための支援（カウンセリング）などにも対応



メール で相談  
cap\_csdesk@pref.fukuoka.lg.jp



# 【再乱用防止】福岡県大麻乱用防止サポート窓口



## 【相談対象者】

- ① 大麻の誘いを受けて困っている、大麻使用経験がある等大麻に関する課題を抱える若者
- ② ①の家族、パートナー、友人その他の関係者

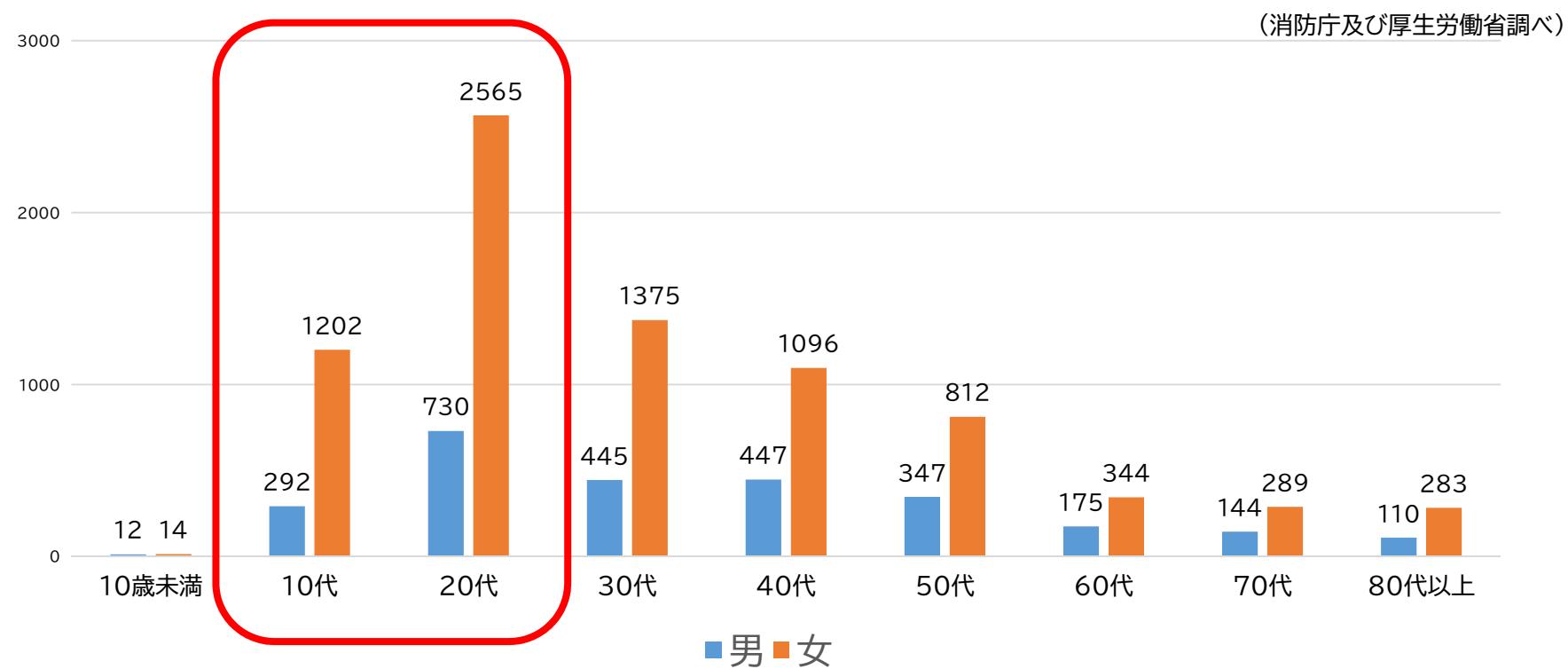
### 3 市販薬の乱用（オーバードーズ）について

# 市販薬乱用の現状

## 全国における現状

- 薬物依存症の治療を受けた10代患者の主たる薬物は、市販薬の割合がH26年の0%からR6年には約72%と急増している。<sup>(※1)</sup>
- 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送者数の約半分を10~20代が占めている。<sup>(※2)</sup>

«全国における医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送者数(令和4年)»



※1 全国的精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（2024年）

※2 令和5年12月18日第11回 医薬品の販売制度に関する検討会 参考資料2

# 市販薬乱用の現状

## 全国における現状

- 過去1年以内に市販薬の乱用経験のある中学生の割合は全体の約1.8%。<sup>(※1)</sup>

«約**5 5**人に**1**人の割合»

※大麻の**約45倍** (大麻の過去1年間の経験率: 全体の約0.04%)

- 過去1年以内に市販薬の乱用経験のある高校生の割合は全体の約1.6%。<sup>(※2)</sup>

«約**6 0**人に**1**人の割合»

※大麻の**約10倍** (大麻の過去1年間の経験率: 全体の約0.16%)

- 過去1年以内の市販薬の乱用経験のある国民の割合は全体の0.75%。<sup>(※3)</sup>



«約**6 5**万人と推定»

※大麻の**約3.25倍** (大麻の過去1年間の経験率: 全体の約0.23%)

※1 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2024年）

※3 薬物使用に関する全国住民調査（2023年）

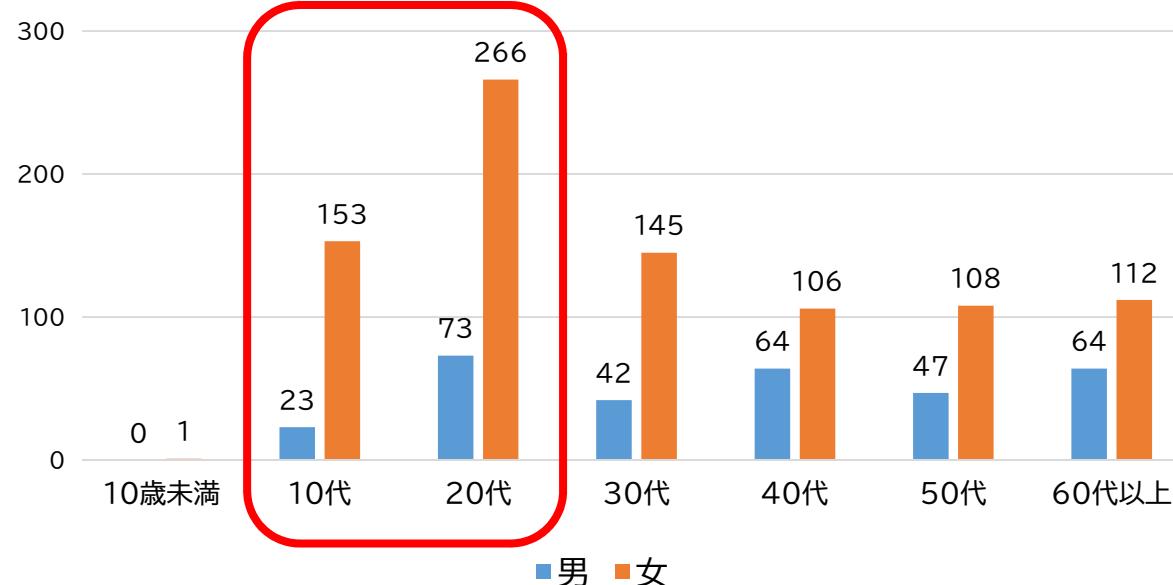
※2 薬物使用と生活に関する全国高校生調査（2021年）

# 市販薬乱用の現状

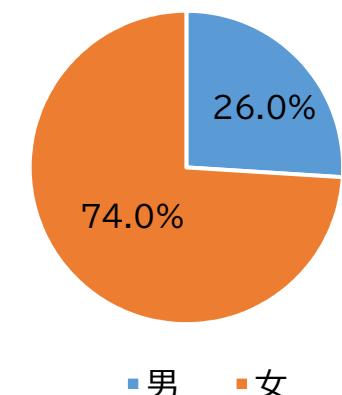
## 福岡県における現状

- 福岡県においても、医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送者数は増加傾向であり、その約半数を10~20代が占めている。
- 救急搬送者数の男女別の割合については、女性が約7割を占めている。

«福岡県における医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送者数(令和6年)»



男女別割合(令和6年)



# 市販薬（一般用医薬品）の販売規制

- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法施行規則等において、特定の成分を含有する全ての医薬品を、「**濫用等のおそれのある医薬品**」として指定。

## 【濫用等のおそれのある医薬品】

以下に掲げるもの、その水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤

- ・エフェドリン
- ・コデイン
- ・ジヒドロコデイン
- ・プロモバレリル尿素
- ・プソイドエフェドリン
- ・メチルエフェドリン

## 【濫用等のおそれのある医薬品の販売方法】

- 現状の販売規制では、市販薬の濫用対策が不十分であることから、法改正により販売規制を厳格化。（R7.5.21公布。R8.5.1施行予定）

### ○販売規制の一部概要

- ・販売時、**他の薬局等での購入状況、氏名、年齢、多量購入の場合の理由を確認**
- ・若年者への大容量製品又は複数個の販売を**禁止**

# 福岡県における対策

- 福岡県薬物乱用防止啓発サイトにおいて、市販薬乱用に関するページを掲載し、市販薬乱用の現状と相談窓口（精神保健福祉センターや保健所の依存症やこころの健康相談窓口）の周知啓発を実施。
- 県公式SNS（LINE・X）を活用し、医薬品の適正使用及び相談窓口の周知啓発を実施。（年4回程度）
- 厚生労働省が毎年実施している「医薬品販売制度実態把握調査」において、濫用等のおそれのある医薬品の販売が不適切であるとされた店舗等に立入指導を実施。



## オーバードーズとは？

### オーバードーズとは？

医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうことを指して、「オーバードーズ」と言われています。

特に最近、かぜ薬や咳止め薬などを、かぜや咳の症状を抑えるためではなく、感覚や気持ちに変化を起こすために大量に服用することを指して、「オーバードーズする」「ODする」などと言われています。

啓発サイトでは、  
相談窓口や啓発資材の  
紹介もしています

福岡県薬物乱用防止啓発サイト  
<https://www.no-drugs-fukuoka.jp/>

福岡県 薬物

検索



# 福岡県における対策

## 現在使用可能な啓発資材例（厚生労働省）

小学生向け



中高生向け



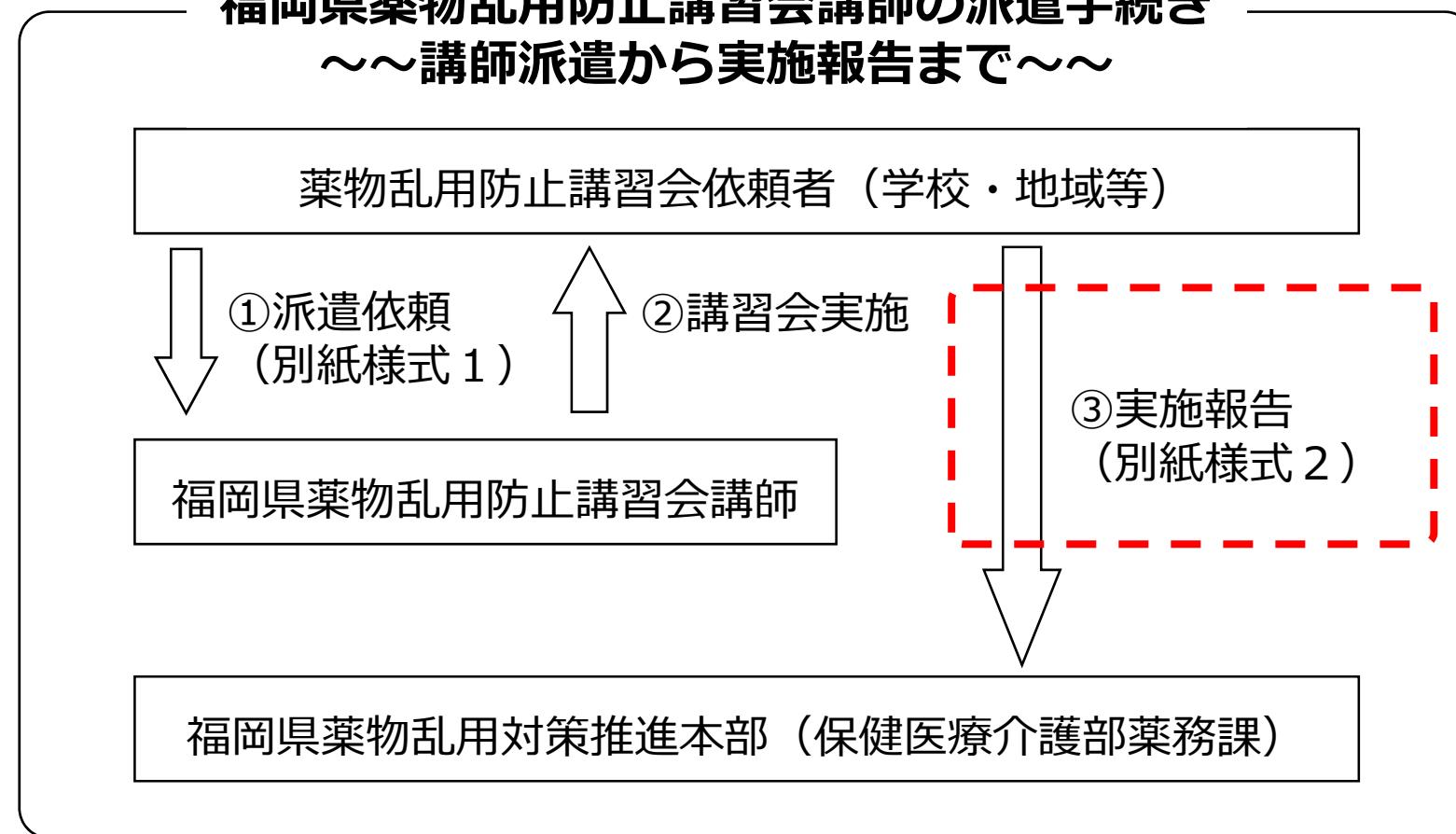
■令和7年度、**小学生及び中高生**を対象とした、  
市販薬の適正使用促進を目的とする  
**啓発資材（パンフレット）を制作予定。**

（令和8年2月頃完成予定）

## 4 その他

# お願い

## 福岡県薬物乱用防止講習会講師の派遣手続き ～～講師派遣から実施報告まで～～



依頼者（学校等）は、講習会実施後、すみやかに実施報告書を薬務課宛てに提出していただくことが必要ですが、失念されているケースがあるようです。

講習実施後、報告書の提出が必要であることを依頼者にお伝えいただけますと幸いです。

ご清聴ありがとうございました！！

